

奈良の古寺院 平城京右京の寺院跡と遺跡

約10.5km



みどころ

平城京の広さを体感しつつ、平城京右京にあった寺院跡や施設跡などを南から北に向かって巡るコースです。

1 こおりやまじょう 郡山城

近鉄郡山駅の東口改札を出て北にしばらく歩き、お地蔵さんが集められた祠のある交差点を西に折れ、近鉄の踏切を渡って坂を登ると、右手に柳沢神社の鳥居があります。鳥居をくぐって神社の本殿の裏に回ると天守台があり、その上からは東側に遠く若草山が望めます。城は天正8年(1580年)に筒井順慶が築き始め、その後、豊臣秀長が入城し、江戸時代中頃から幕末までは柳沢氏が城主でした。

2 うえつきでらあと 殖槻寺跡

柳沢神社から西へ向かい、郡山城の堀の外側に沿って北へ、更に東へと進みます。近鉄の踏切を東へ渡ったところすぐ左折して線路に沿って北へ進み、再び踏切を西に渡ると殖槻八幡神社があります。殖槻寺は『日本書紀』や『日本霊異記』にみられ、右京九条三坊にあったとされます。神社周辺からは飛鳥・奈良時代の瓦が出土しており、この周辺が寺があった場所と思われる。遺跡説明看板はありません。

3 かんぜおんじあと 観世音寺跡

殖槻八幡神社から東へ向かうと、JR線を越える道路が高架する直前にハローワーク大和郡山があり、その前の小道を北に入ると二つめの角を西へ折れて少し進んだところに八幡宮の入口があります。観世音寺は遣唐留学僧の智通が建立し、右京九条一坊にあったとされ、八幡宮にある小さな観音堂がその後身と思われる。長屋王家との関わりが考えられる瓦も出土しています。遺跡説明看板はありません。

4 らじょうもんあと 羅城門跡

ハローワーク大和郡山から東へ向かい、地下道でJR線をくぐって道路高架下を進むと、佐保川堤防直前の高架下に遺跡説明看板があります。羅城門跡は佐保川の河川敷下に埋没していますが、発掘調査で基壇の一部と朱雀大路の西側溝が確認されています。橋の上からは真北に遠く復元された朱雀門と大極殿が望め、平城京の大きさを体感できます。

5 へいじょうきょううきょうはちじょういちぼうじゅうしん 平城京右京八条一坊十三・十四坪

羅城門跡から元来た道を西へ戻り、ハローワーク大和郡山を過ぎて最初の信号を北に折れて北進し、秋篠川を渡った右手に清掃センター工場と付設の九条公園が見えます。公園入口には遺跡説明看板があります。敷地は右京八条一坊十三・十四坪に当たり、清掃センター建設時の発掘調査で奈良時代の鋳造工房や漆工房などが確認されています。我が国最古の銅銭である銚帯金具富本銭が、初めて発掘調査によって出土した場所です。

6 にしいちあと 西市跡

九条公園から秋篠川を渡って西へ向かい、麒麟堂薬局の手前の新しい道路を北に折れて進むと、道路が西へカーブする部分に遺跡説明看板があります。西市は右京八条二坊にあったと推定され、付近に「市田」の小さな地名が残っていたり、平城京の西堀である秋篠川が隣接していますが、これまでの発掘調査で市に關係する明確な遺構は出土していません。

7 しちじょうはいじ 七条廃寺

近鉄九条駅前を北へ向かい、駅北側の踏切を西に渡ってすぐ北に折れて進み、「曹洞宗三松禅寺」石標のある三叉路を西に折れて緩やかな坂を上がっていけば三松寺があります。七条廃寺は三松寺周辺から北東にある天武神社の西側にかけたの場所にあったと思われます。奈良時代の瓦や土器のほか飛鳥時代のものも出土しており、平城遷都以前にも何らかの施設があったようです。遺跡説明看板はありません。

8 やくしじ 薬師寺

三松寺石標のある三叉路まで戻って再び北に進み、「薬師寺八幡宮入口」石標のある参道を東に入ると踏切を渡り、境内を北に抜けると薬師寺入口があります。入場観覧は有料です。薬師寺は天武9年(680年)に持統皇后の病氣平癒を願って藤原京に建てられた寺(本薬師寺)を右京六条二坊に移した寺です。回廊内の東西に三重塔を有する双塔式伽藍であり、古代の伽藍配置を見ることのできる数少ない寺のひとつです。

9 どうしょうだいじ 唐招提寺

薬師寺前から東に向かい、秋篠川を渡ってすぐ東側堤防上のサイクリングロードに入って左手に薬師寺を望みながら北へ進み、「奈良自転車路案内図」看板のある場所で再び西へ折れて橋を渡って少し進むと唐招提寺入口があります。入場観覧は有料です。唐招提寺は鑑真によって右京五条二坊九・十坪に建てられた寺で、金堂、講堂、校倉は奈良時代の建物です。特に金堂は、現存する我が国唯一の奈良時代の金堂建物です。

10 さいおんいんあと 済恩院跡

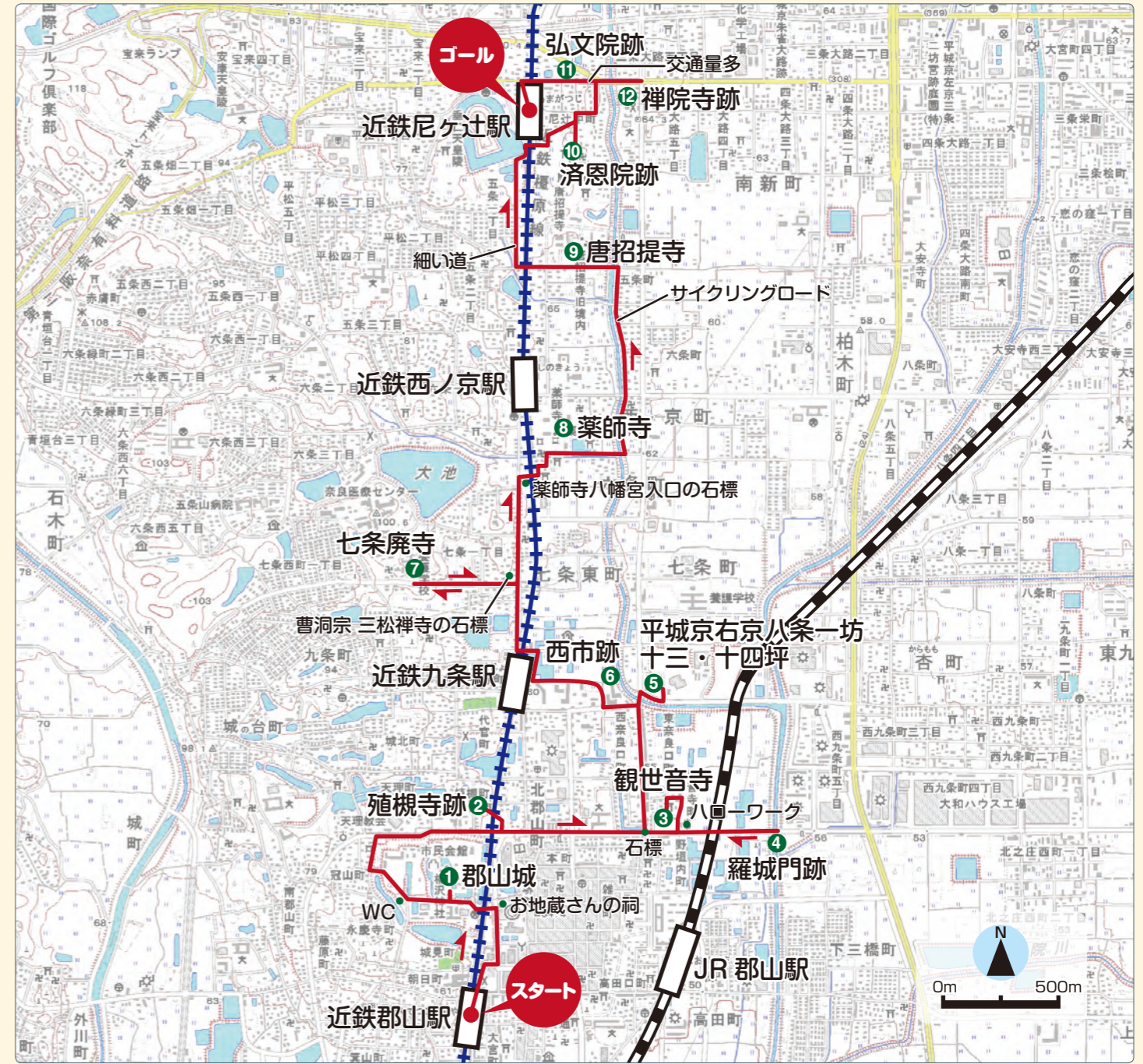
唐招提寺前から西に向かい、踏切を渡ってすぐ北に折れて線路沿いの道を進み、垂仁天皇陵の濠に至ったところで踏切を東に渡って集落内を道なりに進み、突き当たりを南へ向かうと右手に天神社があります。済恩院は唐で客死した遣唐使の藤原清河の家を寺とした伝承があり、周辺で奈良時代の瓦が出土している天神社付近にあったと思われる。遺跡説明看板はありません。

11 こうぶんいんあと 弘文院跡

天神社から元来た道を戻って集落内を北に抜け、東西道路に出たところの東側に、新しい四車線道路の高架が始まる部分の脇の三角地に建つ阿弥陀堂があります。石仏や地蔵が祭られ、遺跡説明看板もあります。弘文院は藤原良継や百川が建てたとの伝承があり、この辺りにあったと思われる。弘文院は慶長年間に興福院と改称し、その後法蓮町に移転しましたが、阿弥陀堂は元の場所に再建されたものです。

12 ぜんいんじあと 禅院寺跡

阿弥陀堂から東に進み三条大路五丁目の交差点に至ります。ここが平城京の三条大路と西一坊大路の交差点であり、僧道昭が建てた飛鳥寺東南禅院を移した寺とされる禅院寺がこの付近にあったと思われる。周辺では飛鳥寺東南禅院推定地から出土する瓦と同じものが出土しています。遺跡説明看板はありません。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平21業第、第425号)

コース

- | | | | | | | | | | |
|-------------------|------|---------|------|---------|------|-------------------|------|--------|------|
| スタート 近鉄郡山駅 | ▼10分 | 1 郡山城 | ▼20分 | 2 殖槻寺跡 | ▼15分 | 3 観世音寺跡 | ▼15分 | 4 羅城門跡 | ▼30分 |
| 5 平城京右京八条一坊十三・十四坪 | ▼10分 | 6 西市跡 | ▼20分 | 7 七条廃寺 | ▼25分 | 8 薬師寺 | ▼25分 | 9 唐招提寺 | ▼25分 |
| 10 済恩院跡 | ▼10分 | 11 弘文院跡 | ▼5分 | 12 禅院寺跡 | ▼3分 | ゴール 近鉄尼ヶ辻駅 | | | |

注 寺社等の見学に際し拝観料などの料金が必要な場合があります。紹介したコースには私有地なども含まれます。マナーを守って見学しましょう。

平城遷都 1300年祭

